

カケハシ・プロジェクト(招へいプログラム)の記録 対象:米国高校生3陣(米国)

1. プログラム概要

米国から高校生及び引率者 75 名が 2019 年 7 月 30 日~8 月 6 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)について発表しました。

【参加国・人数】

米国:75名

(内訳)

グループ A(25 名): ラフィエット高校(ケンタッキー州)

グループB(25名):ディアフィールド・ビーチ高校(フロリダ州)

グループ C(25 名): ケネディ高校, ジェファーソン高校, ワシントン高校(アイオワ

州)

【訪問地】

東京都(全員), 青森県(グループA/B), 広島県(グループC)

2. 日程

7/30(火)	【来日】	
7/31 (水)	【オリエンテーション】	
	【講義】SIMA 国際経営研究所 所長	木村 秀夫 氏「Japan Today」
	(1) グループ A/B: 青森県	(2) グループ C: 広島県
	【視察】浅草寺・仲見世	【視察】皇居 (二重橋), 東京スカイ
	【最先端技術】千葉工業大学東京ス	ツリー
	カイツリータウン®キャンパス	【最先端技術】千葉工業大学東京ス
	【視察】東京スカイツリー	カイツリータウン®キャンパス
8/1(木)	東京都から青森県へ移動	東京都から広島県へ移動
	【表敬訪問】 南部町	【表敬訪問】広島県庁
	【文化体験】座禅(法光寺)	【文化体験】書道・昔あそび(サンモ
		ール)
8/2(金)	【学校交流】青森県立名久井農業高	【学校交流】広陵高等学校サマーキ
	等学校	ャンプ
	【ホームステイ対面式】	

8/3(土)	【ホームステイ】南部町	【学校交流】【視察】 広陵高校生とピースツアー
		【ホームステイ対面式】
		【ホームステイ】江田島市
8/4(日)	【ホームステイ歓送会】	【ホームステイ歓送会】
	【ワークショップ(報告会準備)】	【ワークショップ(報告会準備)】
8/5(月)	青森県から東京都へ移動	広島県から東京都へ移動
	【成果報告会】	
	【視察】明治神宮・原宿	
8/6(火)	【視察】お台場(グループ A)	【視察】浅草寺・仲見世
	【離日】	

3. プログラム記録写真

全グループ (東京都)



7/31【オリエンテーション】



7/31【講義】SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫 氏「Japan Today」



7/31【最先端技術】千葉工業大学東京スカイツリータウン®キャンパス



8/5【報告会(訪日成果・帰国後の活動計画 発表)】

グループ A/B (訪問地:青森県)



8/1【表敬訪問】南部町

8/1【文化体験】座禅(法光寺)



8/2【学校交流】青森県立名久井農業高等学校



8/3【ホームステイ】南部町

グループC(訪問地:広島県)



8/1【表敬訪問】広島県庁



8/2【学校交流】広陵高等学校サマーキャンプ



8/3【学校交流】【視察】 広陵高校生とピースツアー



8/3【ホームステイ】江田島市

4. 参加者の感想(抜粋)

グループA(訪問地:青森)

◆ 日本理解講義では、日本の歴史、技術、産業、文化について学ぶことができ、今後の 日本滞在に向けて役立つ情報が詰まっており、興味深かいものでした。学校交流では、 地方の学校や地域の経済、地域の人々の暮らしについて学び、さらに和太鼓を演奏する 機会や、アーチェリー部の練習を見学することができました。ホームステイの経験は、 講義で学んだ日本のことを実際に自分自身で体験し、講義だけでは理解できなかったこ とも学びました。また海や八戸のお祭り、温泉などを体験することもできました。

グループB(訪問地:青森県)

◆ 日本理解講義の木村先生の講義は啓発的で、とても面白いものでした。講義の中で 先生の社会的な問題に対する考えなども伺え、より一層楽しめました。学校交流で訪れ た学校は大きく、とてもきれいでした。学校見学では、生徒さんたちの様々な活動につ いて学びました。表敬訪問で訪れた南部町は美しく、副町長が私たちを歓迎してくれま した。私を受け入れてくださったホストファミリーの皆様は素晴らしい方々で、一緒に 料理を作ったことが楽しい思い出となりました。

グループC(訪問地:広島県)

◆ ホームステイは圧倒的に印象深い体験となりました。日本文化に触れ、年齢を問わ ず様々な方々とつながることができました。学校交流は素晴らしく、今後も多くの米国 の学校がカケハシプログラムに参加し、このような交流の場に加わってほしいと思いま す。サマーキャンプを共に過ごして仲良くなった広陵高校の皆様とは今後も交流が続い ていくような気がしました。原爆の資料館については、言葉では言い表せず、核兵器に よる破壊について学んだことで、核なき世界への切なる願いを理解しました。アメリカ と日本の違いを知ることは素晴らしいことであり、その違いが大切なのです。今後も、 アメリカと日本が相違点を尊重しつつ、お互いが協働できる関係であってほしいと思い ます。日本理解講義は多くを学ぶ絶好の機会でした。講義では、アメリカの授業では知 ることのできない、日本の側面を多く知ることができました。

5. 受入れ側の感想(抜粋)

◆ ホストファミリー (グループ A/B)

今回受け入れた子供たちは、片言ではありますが、皆さん日本語を話して下さいました。私達が片言の英語でしか話せなくても受け入れてくれる優しい子供たちでした。夕食にカレーライスを一緒に作ってくれました。我が家はリンゴ農家なので、りんごの摘葉(葉をとってりんごを赤くする仕事)作業も一緒に手伝ってくれました。子供たちは浴衣を着て、手持ち花火をしました。日本の夏の夜、少しでも味わってもらえたら嬉しいです。

◆ ホストファミリー(グループC)

受け入れ初日、彼女たちが自宅に入る際、一生懸命に"おじゃまします"の日本語を言うために調べてくれた後、"おじゃまします"と言い、靴を脱ぐ際も見よう見まねできちんと揃えてくれました。日本人の文化に溶け込もうとする心にすごく感動しました。また、帰国する日には、その場で手紙を書いてくれたこともすごく嬉しかったです。言葉の壁を越えて心の交流をしたことにとても嬉しく思います。本当にありがとうございました。

6. 参加者の対外発信



「いいね!」97件

nosprout Japan ● day 4: Still with our host families and for a full day this time. Since they are farmers we helped them harvest apples and potatoes. That was a lot of work in the heat so we went to the beach. First a beach that was just rocks and views but then to a swimming beach. The pacific is freezing but it was insane to go to the beach in another country.

OOA

35 likes

訪問になりました。

dbhssensei Day 5 - Part 1... The student exchange with Nakui Agricultural HS. These pics include our opening ceremony where we shared information about our schools and took a campus tour. The students are on summer break, but still came to school to share their culture with us! We're so fortunate to be a part of all this.

学校交流についての発信(Instagram)

ホームステイについての発信

(Instagram)

ホストファミリーは農家なので、りんご とじゃがいもの収穫作業を手伝いまし た。暑い中手伝ったのでその後海に連れ て行ってくれました。 学校交流の名久井農業高等学校の様子です。オープニングセレモニーでは、私たちの高校の紹介や名久井農業高等学校の生徒さんが学校を案内してくれました。生徒さんは夏休み期間中でしたが、日本の

文化も紹介してくれ、とてもすばらしい

5



ホームステイについての発信(Twitter) 江田島市でのホームステイは楽しかった ので、お別れするのがつらかったです。私 のホストファミリーはとてもいい人たち で親切にして下さり、たくさんのおもて なしをしてくれました。



浅草寺についての発信(Instagram)

2日目。私たちは、美しい浅草寺に行きました。アメリカでは見ることができない歴史的建造物は、おごそかで立派な雰囲気でした。庭園も素晴らしかったです。人々がお寺を参詣する様子を見たときに日本人の仏教への信仰心を感じました。私は幸せを祈願してお賽銭を 100 円入れました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

WHAT: (What are we planning on doing?)

We are going to share our experience in Japan through school and community outreach. We will begin regular visits to Picadome Elementary School to inform students and others about Japanese language and culture. This includes traditional music, meals, calligraphy, the Japanese alphabet, and other fun activities related to Japan. In addition, we will also participate at our school's multi-cultural fair and the Kentucky Japan Festival in downtown Lexington by creating a booth about our experience and knowledge of Japan.

グループ A 何をするか

- ·学校やコミュニティ活動を通して日本での経験を紹介する。
- ·Picadome 小学校への定期的な訪問で日本語や文化を紹介する活動を始める。
- ・日本の伝統的な音楽や食事, 習字, 日本 の文字や楽しい活動を通じて日本を理解

ACTION PLAN (CONTINUED)

- ernas ares n
- Create social media accounts to continue enriching our Kakehashi experiences.
- A TWITTER AND INSTAGRAM ACCOUNT WILL ENABLE JAPANESE STUDENTS AND ALUMNI TO BUILD UPON THE FOUNDATION OF OUR EDUCATION ABOUT JAPANESE CULTURE, HISTORY, AND LANGUAGE.
- CREATE 12-MONTH CALENDAR FEATURING PHOTOS OF OUR KAKEHASHI EXPERIENCES, AND INCLUDE SIGNIFICANT DATES SUCH AS JAPANESE HOLIDAYS AND JAPAN CLUB MEETINGS AND ACTIVITIES.

グループB

何をするか

- ・ツイッターやインスタグラムなどのデジタルプラットフォームを使って日本クラブや日本語クラスをとおしてカケハシのことを発信する。
- ・カケハシでの経験などを日本の休日,日本クラブの活動やミーティング予定を入

してもらう。

どう実行するか

- ・ラファイエット高校でカケハシ・クラブ を結成し、小学校訪問活動を始める。
- ・毎月の活動を通じて日本の文化など日本についての関心を高める。

れたカレンダーにまとめる。今後の 2 か月で上記の予定を実行するために、情報を発信する。

・IB 新入生および 10 年生の生徒と親やフレッシュマンラウンドアップにおいて旅の土産などを掲示し、交流する。

どう実行するか

- ・カケハシ・プロジェクトに参加した日本 クラブに在籍する CBA(コミュニケーショ ンと放送芸術) と IB(国際バカロレア) の生徒と一緒に様々な投稿をもとにウェ ブサイトとフォルダーを作成する。
- ・今後日本クラブまたは日本語クラスの 生徒にデジタルアクセスを周知する。ま た, この情報をカレンダーに盛り込み発 行する。

Debriefing

The Action Plan

There are three goal

- Short Term- Art Show
- Mid Term- Paper Crane Proje
- Long Term- Cultural Festiva

_

グループC

テーマ "The One-Two-Three Project"

なぜやるのか

世界にカケハシを築くため

いつするか

1期:3か月内・2期:1年以内・3期:できる限りずっと

誰がやるか

3校のカケハシ訪日団と日本人学生

どう実行するか

1期:各高校での日本関連アートショー

2期:折り鶴プロジェクト

3期:地域を巻き込んだ日本文化フェスティバル(折り鶴プロジェクトは引き続き実施)